

よねしろがわ あにがわ よねしろがわ

米代川支川阿仁川と米代川本川の家屋浸水被害を解消します！

～災害復旧助成事業（助成事業）～

～直轄河川災害復旧等関連緊急事業（復緊事業）～

<今回の災害の特徴>

平成19年9月17日から18日にかけての洪水では、岩手県や秋田県を中心に延べ約4万人に避難指示・避難勧告が出るなど住民生活に多大な影響が生じました。

秋田県能代市二ツ井地点上流で流域平均雨量179mm（24時間）を観測し、概ね60年に1度発生する降雨となりました。これにより、米代川支川阿仁川では4箇所で堤防が決壊し、本川米代川の直轄管理区間でもほぼ全区間で氾濫危険水位を超える水位となりました。また、阿仁川沿川で360戸、米代川沿川で366戸の家屋浸水被害が発生するなど甚大な被害が発生しました。

<阿仁川助成事業、米代川復緊事業>

○再度災害防止のため、助成事業と復緊事業を同時に採択

既に米代川においては、今回の豪雨災害による河川管理施設被害の復旧のための直轄河川災害復旧事業が採択されているところです。（直轄災 1,761 百万円＋関連災 56 百万円＝1,817 百万円）

これに加えて今回、越水・破堤等による激甚な被害があった支川阿仁川（秋田県管理区間）においては災害復旧助成事業を採択し、原形復旧にとどまらず改良復旧を実施します。また上流で改良復旧を実施すると、これまでは上流域で氾らんしていた洪水が下流まで流下することとなるため、米代川（阿仁川合流点より下流）において復緊事業を採択し、流量増大にも対応した河川整備を緊急的に実施します。

これらにより、平成23年度完成の森吉山ダムの効果とあいまって、今回の豪雨と同規模の出水に対する再度災害の防止を図ります。

<事業の概要>

○阿仁川助成事業（秋田県）

事業区間：阿仁川 約28km

事業内容：激甚な被害の発生した阿仁川において、家屋浸水等を解消し、再度災害を防止するために、堤防が無い又は小さい箇所では築堤を行うとともに、川幅が狭い箇所では河道掘削を行うなどの抜本的な対策を実施。

事業期間：平成19年度～平成23年度の5カ年間

総事業費：約106億円

○米代川復緊事業（東北地方整備局）

事業区間：米代川 約35.5km

事業内容：阿仁川の助成事業による流出増に対応した流下能力を確保して安全に流下させるため、河道掘削、堤防強化を実施。あわせて、掘削土砂を有効活用し、家屋浸水対策として、輪中堤、宅地嵩上げ等を実施。

事業期間：平成19年度～平成22年度の4カ年間

総事業費：約69億円

平成19年9月17日～18日出水:被災状況(米代川、阿仁川)



能代市街地浸水状況



能代市二ツ井町出水状況
(計画高水位超過)



ヘルセンター付近外水 9/18 05:45
(二ツ井町)

主な家屋
浸水範囲
 破堤箇所



扇田堤防法崩れ 9/18 13:00
(能代市)



能代市二ツ井町麻生地区



北秋田市増沢地区



家屋浸水状況 (大館市山田渡)



宅地側が堤防から溢れ出した流水により、一時、米代川の水位と同じ水位となった(18日11時現在)



北秋田市大淵地区



北秋田市李岱地区



北秋田市阿仁前田地区



平成19年9月出水浸水戸数	
秋田県全域	: 962戸
米代川	: 366戸
阿仁川	: 360戸



阿仁川、小阿仁川合流点出水状況

阿仁川

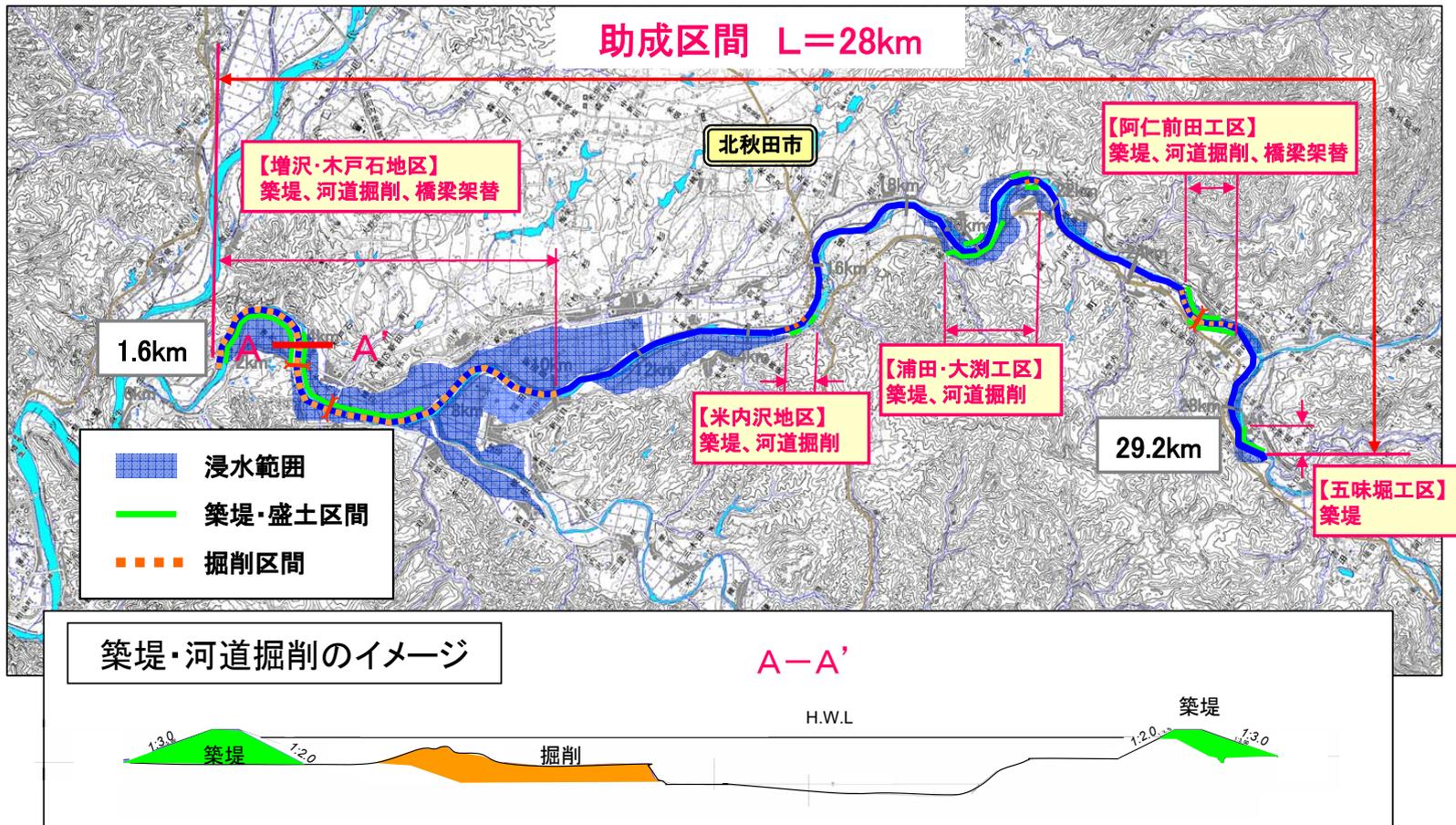
破堤

小阿仁川

読売新聞提供

災害復旧助成事業(阿仁川)の実施箇所と整備内容

激甚な被害の発生した阿仁川において、家屋浸水等を解消し、再度災害を防止するために、堤防が無い又は小さい箇所では築堤を行うとともに、川幅が狭い箇所では河道掘削を行うなどの抜本的な対策を実施。



直轄河川災害復旧等関連緊急事業(米代川)の実施箇所と整備内容

阿仁川の助成事業による流出増に対応した流下能力を確保して安全に流下させるため、河道掘削、堤防強化を実施。あわせて、掘削土砂を有効活用し、家屋浸水対策として、輪中堤、宅地嵩上げ等を実施。

